

2023年度
環境レポート



対象期間 2023年4月～2024年3月

発行日 2024年 6月21日

有限会社 三方五湖環境

目 次

1. 環境方針
2. 事業概要
3. 環境関連法規等の取りまとめ
4. 環境目標とその実績
5. 主要な環境活動計画の内容
6. 主要な環境活動の取組状況と評価および次年度の取組み内容
7. 従業員の教育訓練の実施
8. 環境関連法規への違反、訴訟の有無
9. 代表者による全体の評価と見直し
10. その他

環 境 方 針

【 基本理念 】

弊社の活動拠点「若狭三方五湖」という縄文時代から人が定住していた自然環境にとっても恵まれた地域です。祖先から脈々と受け継がれてきたこの素晴らしい自然環境を継続して守っていくために地球に居住する一員と自覚し、次世代へと引き継がなければならないと考えます。

従って事業活動を行なうことにより環境に与える環境負荷を把握しながら地球環境及び地域の環境に配慮した、持続可能な社会の構築に貢献します。さらに事業活動を通じて地域の環境美化の保全及び向上に努め、地域社会と共に歩む事業所として地域住民から信頼される企業を目指します。

【 行動方針 】

基本理念の実現のため以下を行動方針と定め、その方針に基づいて環境の保全及び継続的改善に努めます。

1. 地球温暖化対策、省資源、省エネルギー活動の推進を図る。
2. 発生する廃棄物の削減及びリサイクルを推進する。
3. 事業活動で使用する物品等は、地球環境に優しい商品の調達を推進する。
4. 地域の環境美化活動に積極的に参加する。
5. 環境保全に対する法規制及び取引企業内等での環境管理に対する要求事項を遵守する。
6. 行動方針については、全従業員に周知するとともに実践する。



平成18年5月1日作成
有限会社 三方五湖環境

代表取締役
大山吉之

2. 事業概要

- ① 事業所名及び代表者名
有限会社 三方五湖環境
代表取締役 大山吉之

- ② 所在地
本社 住所：福井県三方上中郡若狭町気山114泉口1-3
TEL：0770-45-0470 FAX：0770-45-2933
上中基地 住所：福井県三方上中郡若狭町井ノ口3号出口9番2

- ③ 環境保全関係責任者の連絡先
責任者：大山公之助 TEL：0770-45-0470 FAX：0770-45-2933

- ④ E A 2 1 認証登録範囲
全社

- ⑤ 法人設立年月日及び資本金

設 立	資本金	売上高（5年度）
昭和46年 1 月	500万円	82,808千円

- ⑥ 主な事業の内容
- ・ 一般廃棄物収集運搬業 (小浜市・若狭町、美浜町)
 - ・ 産業廃棄物収集運搬業 (汚泥) (福井県)
 - ・ 特別管理産業廃棄物収集運搬業 (廃油・廃酸・廃アルカリ) (福井県)
 - ・ 浄化槽保守点検業 (若狭町、美浜町)
 - ・ 下水道処理施設維持管理業 (近畿地方整備局)

- ⑦ 事業の規模

活動規模	単 位	令和 4 年度	令和 5 年度
廃棄物運搬量	トン	3420.91	3396.5
従業員数	人	13 (3)	12(2)
車 両 台 数	台 数	10	11

* なお、車両の種類は汚泥運搬車（4t2台）・バキューム車（4t2台・2t1台）
給水車（4t1台）・ユニック車（2t1台）・保守点検車（普通車1台・軽自動車2台）
事務用車（軽自動車1台）

* 従業員数（ ）はパート員数内数。

⑧ 一般および産業廃棄物業ならびに特別管理産業廃棄物業に関する取得許可

都道府県及び政令指定都市	積替保管	許可取得年月日及び有効期限	種類	許可番号	種別
若狭・美浜町	無	令和 6 年 4 月 1 日 令和 8 年 3 月 31 日	し尿 浄化槽汚泥	組合指令 第 3 号	一般
若狭町	無	令和 5 年 4 月 1 日 令和 7 年 3 月 31 日	し尿 浄化槽汚泥	—	一般
小浜市	無	令和 5 年 4 月 1 日 令和 7 年 3 月 31 日	し尿 浄化槽汚泥	小浜市指令 環第 10 号	一般
福井県	無	平成 4 年 5 月 18 日 令和 9 年 5 月 17 日	汚泥	1807069904	産廃
福井県	無	平成 4 年 5 月 18 日 令和 9 年 5 月 17 日	廃油・廃酸 廃アルカリ	1857069904	特管産廃

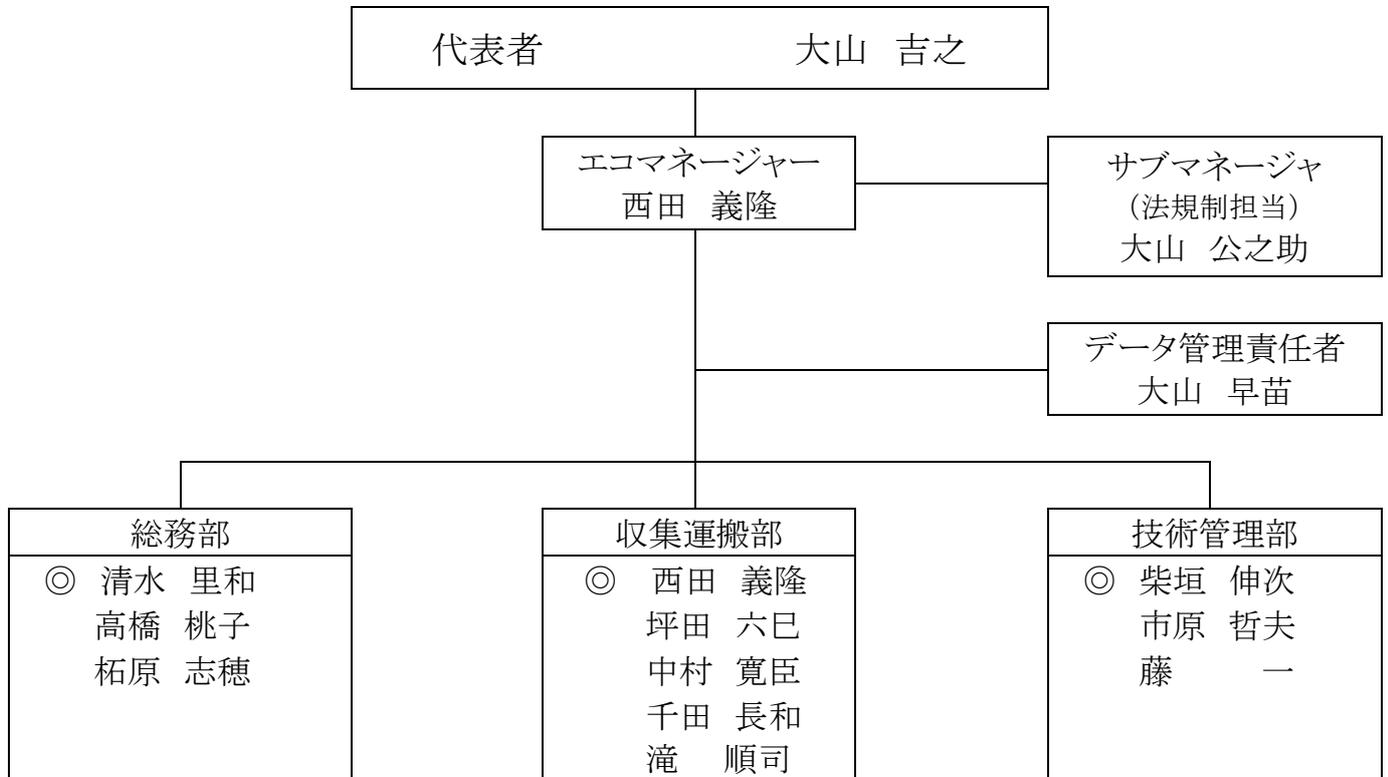
⑨ 産業廃棄物業および特別管理産業廃棄物業に関する料金

廃棄物の形状・搬出場所等条件により、料金は異なりますのでお気軽にご連絡下さい。

お見積もりをさせていただきます。

2024. 4. 1

⑩ 組織図



3. 環境関連法規等の取りまとめ

チェック日 2023年4月

順守しなければならない法規等の一覧表

「環境関連法規制一覧表」で当社に該当すると判断された法規はこの表に転載して、法順守の運用を行う
毎年〇月に法規担当者は順守確認を実施する

法規、条例 名称	守らなければならない 内容、条項 具 体的な規制値	どのように順守 確認をするか	確 認 1	確 認 2	社員にどのよう な教育が必要か	教 育 1	教 育 2
水質汚濁防 止法 排水基準	公共下水道、農業 排水、漁業排水処 理施設委託管理契 約に基づき	EA 会議におい て確認	4/4	9/6	技術管理部にて 再確認	4/11	9/5
廃棄物処理 及び清掃に 関する法律	投棄/焼却の禁止 (未遂)	企業ぐるみの対 応	4/3	9/1	収集運搬部ミー ティング での 周知徹底	4/6	9/4
	コロナ感染拡大 防止対策	企業ぐるみ対応	4/3	9/7	コロナウイルスに 関し、手洗い、マス ク、部屋の換気の励 行	4/3 1	9/4
	ステッカーの表 示	車両への積み込 み	4/3	9/1	同上	4/3	9/3
	許可証の携帯 (コピー)	4/3	4/3	9/5	同上	4/5	9/3
	マニフェストの 受領	事業者発行	4/3	9/1	同上	4/5	9/5
	帳簿の保管	事務所にて保存 (5年間)	4/3	9/5	総務部ミーティ ングでの周知	4/3	9/6
浄化槽法	保守点検委託契 約による管理点 検報告書の保存	3年間保存	4/6	9/5	技術管理部ミー ティングで周知 徹底(総務部)	4/11 (4/3)	9/5 (9/ 6)
	廃止届け義務の アドバイス		4/3	9/7	技術管理部ミー ティングで周知 徹底 (総務部)	4/11 (4/3)	9/4
労働安全衛 生法 施行 令、及び規 則	小型移動式クレー ン運転、玉掛け 第2種酸素欠乏危 険作業	資格者確認 (1t 以上 5t 未満)	4/3	9/1	作業計画時に資 格者とのペアで 対応	4/5	9/6
道路交通法	使用者の義務 無免許、飲酒運 転、無資格運転 積載制限超過等 違反行為の下命 容認の禁止	企業ぐるみの対 応 免許資格の確認	4/1	9/1	安全運転管理者 からの周知徹底 (総務部) (収集部) (技術部)	4/3 4/5 4/4	9/5 // //
	安全運転管理者 の選任 (5台以上)	15日以内に公 安委員会に届出	4/3	9/5	毎年講習会有	4/5	9/4
フロン排出 抑制法	廃棄時の適正処理 簡易点検	改善活動管理シ ート			定期点検の実施	都度	

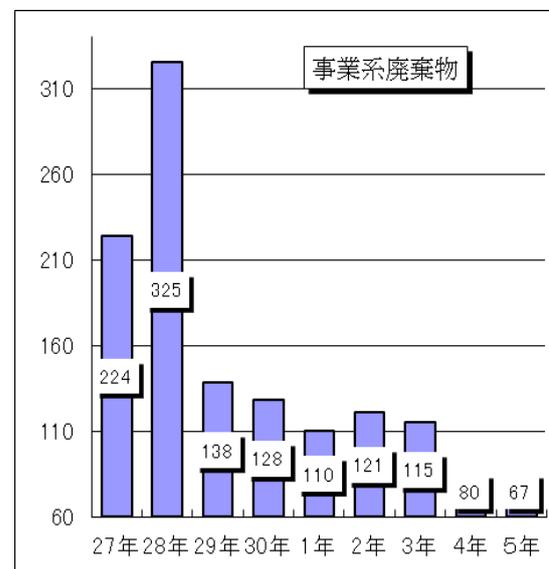
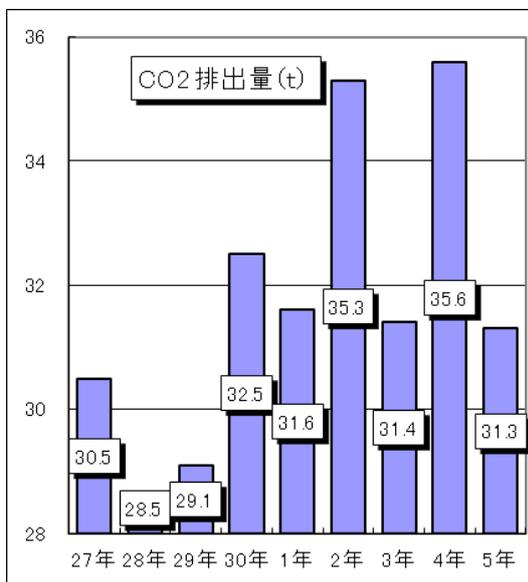
4. 環境目標とその実績

① 環境目標

項目	単位	5年度目標	6年度目標	7年度目標
二酸化炭素排出量	kg-CO2	30963.0 以下 (R元年度1%削減)	30647.0 以下 (R元年度1%削減)	30647.0 以下 (R元年度1%削減)
事務系廃棄物	—	減量に努める (数値目標は設定しない)		
水	—	節水に努める (数値目標は設定しない)		
積載効率アップ	—	し尿収集の効率を上げる (実・積載率80%)		
環境美化	—	クリーンアップ作戦の実施 不法投棄廃棄物撤去作業協力		

② 実績と評価

項目	単位	5年度目標	5年度実績	目標対比	評価
二酸化炭素排出量	kg-CO2	30963.0 以下	35308.0	103.6	△
事務系廃棄物	—	ペーパータオルが多い			
水	—	維持管理できた			
積載効率アップ	%	2t 80以上 4t 80以上	2t 70.44 4t 88.23	88.05 110.29	△
環境美化	—	クリーンアップ作戦の実施			○



③ 二酸化炭素削減の取り組み内

項目	単位	5年度	4年度	前年対比 (%)	評価
二酸化炭素排出量	kg-CO2	35308.0	35583.3	99.9	○
消費電力	kWh	7376	6698	109.8	△
灯油	ℓ	105.0	119.0	88.2	○
軽油	ℓ	10597.73	10367.1	102.2	△
ガソリン	ℓ	1985.56	2011.8	98.7	○

電気の換算係数は 0.420 kg-CO2/kwh (関西電力)

灯油、ガソリン使用量を前年比より削減することができた。軽油に関しても遠方に搬出をする関係で少し増加となったが比較的抑えることができた。その成果もあり、二酸化炭素排出量の削減にも繋がった。水と事務系廃棄物については、節水と減量の努力目標として取り組むようにした。

軽油量の増加理由として敦賀への脱水汚泥搬出が搬出先の修繕工事のため、1か月程度福井市への搬出になったことがあげられる。また業務の拡大により2tトラックの使用が増えたことも起因すると考える。消費電力の増加理由としては事務員さんが1人会議室で作業をしている期間でエアコン、電灯の使用で増加したものと予測する。

また、バキューム車の取り組みとして積載効率のアップ活動を目標にしているが、今年度は2t車が約70%と目標値に達しなかった。理由としてはメインが4tバキュームを使用しており、2tの出動は限られた場所や緊急時の際での使用に限られること。よって少数件数になり積載率が下がった。コロナ感染拡大防止のための取り組みは感染症の収縮により緩和傾向にある。

ダンボール・アルミ缶の回収については気山小の回収運動事業に合わせSDGsの取り組み開始になるのではないかとと思われる。

5. 主要な環境活動計画の内容（R6年度）

二酸化炭素排出量が増加した原因が主に業務が理由で走行距離の増加にあることから目標値設定を今年度の結果を元にし、今年度を下回るよう努力する。走行距離だけでなく、燃費や積載量を意識して日々の業務を実施する。2tバキュームの積載率を上げるために、限られた場所や緊急時の出動であっても、その後に他の箇所をまとめて積載して積載率の向上を目指す。

- ① 故障マニュアルの見直しと活用
- ② 作業機器の取り扱い講習
作業手順書（吸入排出マニュアル）の見直しと活用…講習会の実施
- ③ バキューム車の積載効率の向上（80%）
2t車の実効率アップ検討
- ④ PTO使用時（作業中）は、エアコンを切る（6.7.8.9.12.1.2月）

他に、行動方針に準じ下記の活動を行う。

- ① エコドライブの推進…（バキューム車）…ふわっとスタート
エアコンの適正な使用
（ダンプ）…ふわっとスタート
エアコンの適正な使用
- ② エコドライブの推進（点検車）…ふわっとスタート
エアコンの適正な使用
- ③ 事務所廃棄物の分別徹底
- ④ 事務所における省電力化（空調設定温度の配慮・消灯）節水
夏 27℃ 冬 23℃、
- ⑤ 緊急訓練の実施（訓練計画実施）
- ⑥ 会社周辺の美化活動（6月、9月、12月、3月）
- ⑦ 不法投棄廃棄物の撤去作業協力
- ⑧ 定例会議（月1回）

6. 主要な環境活動の取組み状況と評価および次年度の取組み内容

(バキューム車による生汚泥運搬データである)

① 主要な環境活動の取組み状況

項目	単位	目標値	R5 年度	R4 年度	前年対比 (%)	評価
運搬係数	運搬量/運搬距離×100	7.747	8.944	8.777	101.9	○

100km当り何 t 運んだか

項目	単位	目標値	R5 年度	R4 年度	前年対比 (%)	評価
作業係数	燃費消費量/運搬量	2.235	1.957	1.898	103.1	○

1t運ぶのに何ℓ使ったか

項目	単位	目標値	R5 年度	R4 年度	前年対比 (%)	評価
燃費係数 走行距離/燃費消費量		5.776	5.713	6.004	95.1	△

1ℓ当り何km走ったか

(ダンプトラック)

項目	単位	目標値	R5 年度	R4 年度	前年対比 (%)	評価
作業係数	燃費消費量/運搬量	5.84	7.74	7.28	106.3	○

ダンプトラックの作業係数が改善された。要因としては福井市への運搬が増加したこと。燃費係数が下がっているのでP T O使用時(作業時)のエアコンの使用を停止することや休憩時に車内での休憩を控え、社内、現場事務所等に移動して休憩をすることを徹底する。

② 評価

	項目	評価	実施内容
バキューム車 積載効率の 向上	故障マニュアルの見直しと活用	△	経験者により確認のみ
	作業機器の取扱い講習	△	〃
	バキューム車の積載効率の向上(80%)	○	4t車(88.23)、2t車(70.44)とおおむね良
	PTO使用時(作業中)は、エアコンを切る	△	6.7.8.9.12.1.2月以外でも使用が増

廃棄物の削減 リサイクルの推 進	廃棄物の分類の徹底	○	紙類の分別を徹底し極力再生に
電力の削減	事務所における省電力化	×	コロナ感染拡大防止対策により「密」を避けるため会議室と分散して事務をするため消費電力・灯油消費増
	グリーンカーテン取組み	×	異常気象につき管理難しく取りやめ
節水	事務所における節水	○	
軽油の削減	エコドライブの推進(バキューム車)	○	適正なエアコン使用 ふわっとスタート
	(ダンプトラック)	○	適正なエアコン使用 ふわっとスタート
ガソリンの削減	エコドライブの推進(点検車)	○	適正なエアコン使用 ふわっとスタート
緊急訓練の実 施	バキューム車のオイル漏れ	×	コロナ感染拡大防止のため訓練できず
美化活動	会社周辺の美化活動	○	クリーンアップ大作戦 6・9・12・3月実施
	不法投棄廃棄物の撤去作業協力(保健所要請)		令和5年度要請なし
コミュニケーション	定例会議(月1回)	×	EA21会議

評価について ◎ 十分な活動ができた △ 十分な活動ではなかった
 ○ 活動ができた × 活動ができなかった

是正処置 適正なエアコン使用についても熱中症や健康管理のため使用期間が長くなってきている。
 車両についても20年経過の車両もあって燃費も悪くなってきている。
 行動目標として常にそのような意識観念を持って取組んでいく。

③ 次年度取組み内容

		R5年度	R6年度
二酸化炭素排出量の減 ・ 自動車燃料の効率化 ・ 電力の抑制	到達目標	30963.0 (Kg-CO2) 以下 (元年度1%減以下)	30647.0 (kg-CO2) 以下 (元年度1%減)
事務系廃棄物の削減		減量目標 110.3 (kg) 以下	
水		節水目標 48.0 (m ³)	
バキューム車の積載 効率アップ	努力目標	2t車 80% 4t車 80%	4t車 80% 2t車 80%
	活動結果	2t車 70.44% 4t車 88.23%	
計 画		* LED蛍光灯への切替え * 宅内管渠清掃の講習 * 処理施設(インバート枡)の定期的点検の実施 (役場と協議) * 車両見直し	* LED蛍光灯への切替え * 宅内管渠清掃の講習 * エアコンクリーニング講習 * 車両見直し
担 当		西田 義隆	大山 公之助
承 認		大山 吉之	大山 吉之

7. 従業員の教育訓練の実施

年度初め法規等遵守事項教育

4月 6日 収集部研修会・・・・・・廃棄物処理及び清掃に関する法律、道交法等
若狭町からの委託業務等が主であり役員に代わっての業務である旨の徹底

各施設管理基準確認教育

浄化槽講習会（福井）

安全運転管理者講習

10月17日 なびあす(美浜)

緊急訓練

8. 環境関連法規への違反、訴訟等の有無

① 環境関連法規等の遵守確認

令和5年4月に、「関係法令等一覧・遵守状況チェック記録表」を関係職員に配布し確認を行った。

② 違反、訴訟等

環境関連法規への違反はありません。尚、関係当局による違反の指摘も受けておりません。

経営者による環境マネジメントシステム全体の評価

経営者確認日	改訂日	作成維持
6/26	6/26	代表者

チェック項目	評価の基準	合否判定の基準	評価	経営者のコメント
環境方針の周知度	経営者の考え方が理解できているか？ 環境改善活動の必要性を理解しているか？	質問をしてみて理解不足の者が3割以上存在する	2	社員に理解を深める機会が必要である。 ここ数年で社員が入れ替わっているため改めて周知する機会が必要
環境改善活動の達成度	効果的な目標設定と言えるか 全員が自己の活動の内容、目的がわかっているか	環境改善活動が運用されていない	2	指標の中に分かりにくいものが多いので、一般の人でも理解できるよう解説などを付記するなどわかりやすくする必要がある。
法律などの順守状況	各自が守らなければならない法律を理解しているか？ 順守しているか？	順守しなければならない法規の内容について理解していない。 順守されていない法律などがある	3	様々な業種を行っているので業種の違いを理解し、作業内容を順守しなければならない。さらにそれぞれの業種に見合ったコンプライアンスの違いを確認する必要がある。
実施体制の確認	各自が自己の役割がわかっているか（責任と権限） 不足している経営資源はないか	環境改善活動が計画通り行うことができない状況になっている	2	PDCAがまだよく理解されていない社員が多いように思われる。 また会議では全員から意見が出るような工夫が必要。
教育・訓練	各個人の環境活動に必要な知識、技能が明確になっているか 不足する知識、技能を満たすための教育計画があるか 計画に従った教育・訓練が行われているか	業務、環境活動に必要な能力が大幅に不足している	2	限定的だが教育・訓練については現実的かつ計画的に行なっているが、新しい企画が必要で全体的に見直す事を考えるべき。
環境コミュニケーション	環境活動レポートが自社の活動を外部に表示するのに適切か？ 環境活動レポートが営業活動に使えるものになっているか 外部のからの苦情の処理状況	同左	3	特に取り組み結果などの数字は以前と比較しグラフ化など表現などを工夫し見やすくなってきているが、指標の意味や活動結果を一般の方が見ても分かりやすくなってきていると思う。
環境上の緊急事態への対応	環境リスクが経営に影響を及ぼすことがないか 緊急事態に対する手順内容を確認する	環境リスク評価で問題があると判断した	3	環境リスクについては特に問題はなし。 緊急事態訓練は現実的対応をスムーズに行えている。

取組み状況の確認	問題があったとき是正処置によって再発防止ができるようになってきているか	是正要求が適切に発行されていない 是正要求が完結していない	2	是正措置事例が発生した場合、再発防止のための議論が必要と感じる。
----------	-------------------------------------	----------------------------------	---	----------------------------------

チェック項目	変更の必要性の有無	変更の内容
環境方針	無	特に変更する必要はない。
目標と環境活動計画	無	細かな部分での変更はあったが、基本的に計画は変更無。
その他の環境経営システム	無	今のところ予定無。

このチェックリストは「代表者による全体の評価と見直し」で使用します
 経営者はこの作業を〇〇会議で実施する。評価に必要な情報を会議出席者に要求する
 毎年〇月に実施します（要求は少なくとも毎年1回）。できれば毎年複数回実施することが望ましい
 内部監査制度を運用するようになった場合は、その監査結果を採用すること
 この表の「評価の基準」「合否判定の基準」は経営者が設定し、3年毎に見直します
 評価結果が「合否判定の基準以下」となった場合は是正処置要求書を発行する。是正処置要求書のフォローアップを行う
 評価は 1～4の4段階評価とする 4：優秀 3：順調 2：及第 1：改善が必要＝不合格

10. その他

① 従業員表彰

今年度該当者なし

② 会社周辺の美化活動

6・9・12・3月に実施（クリーンアップ大作戦）

③ 気山小学校アルミ缶・ダンボール回収協力

草薙り作業

